



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2018年8月22日

納車待ちリースプラン「ブリッジ SMAVO」が好調

ボルボ・カー・ジャパン株式会社(代表取締役社長:木村隆之、本社:東京都港区)は、現在納車まで約半年待ちとなっている2車種、「XC40」および「XC60」の購入者を対象に、納車までの間、他のボルボ車を月々低額で利用できるリースプラン「ブリッジSMAVO(スマボ)」を設定しています。昨年7月に受付を開始して以来、契約件数は現時点で1,500件を越え、新たなCS向上を兼ねた販売施策としてご好評いただいています。



「SMAVO(スマボ)」とは「“スマ”ートに“ボ”ルボに乗れる」をコンセプトにした個人向けリースプランの名称です。「ブリッジSMAVO」は、このリースプランを応用した、納期が長期化している新型車の購入者限定の特別なリースプランです。登録諸費用と車両本体価格1%(税込)の月額リース料で最長1年間、他のお好きなボルボ車(新車)に乗ることができ、乗換精算金も不要で、短期に2台のボルボ車を楽しむことができます。(例:V40 T3 Momentumの場合、頭金は242,438円、月額リース料は38,400円となります。)
また、納車まで現有車を保有する場合に発生する車検費用や下取り額の値下がりを抑えることができる経済的メリットもあります。

- ・「SMAVO」URL : <https://www.volvocars.com/jp/buy/sales/finance/smavo>
- ・「ブリッジSMAVO」URL: <https://www.volvocars.com/jp/buy/sales/finance/bridgesmavo>

今年3月に発売した「XC40」の累計受注台数は約3,000台となりました。また昨年10月に発売した「XC60」の累計受注台数も約4,000台となり、いずれも販売計画を上回る受注実績となっています。

「XC40」は、新開発の小型車向けプラットフォーム「CMA(コンパクト・モジュラー・アーキテクチャー)」を採用した、ボルボ初のコンパクト・シティSUVです。ボルボ初の「欧州カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞し、発売以来、幅広い客層から支持を得て、今までのボルボにはないカジュアルなデザインや収納面での使い勝手の良さが高く評価されています。

「XC60」は、プレミアム・ミッドサイズSUVに求められる快適性や機能性、運転の楽しさを高レベルで実現したことに加え、最新の安全機能を標準装備するなど魅力を高めたことで、「2017-2018日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞するなど国内外で高い評価を獲得しています。



XC40



XC60